

令和6年度小松市立国府学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
集団づくり	<p><主体的・対話的な集団づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国府のつどいや学級会を定例に行うことで学校や学年・学級の課題について活発に話し合う場を設定する。 ・生徒会執行部や学年委員会等を活用し、各目標達成に向けた取り組みを自分たちで考え、実行する機会を増やす。 ・週に一度KOKUFUトークを実施し、相手意識を持って考えを伝え合うことで共感的な人間関係を高める。 ・様々なボランティア活動を通して、自発的な姿勢を育成する。 <p>【客観的評価（アンケートより）】</p> <p>①より良い姿（目標）を求めて粘り強く取り組んでいる。</p> <p>②学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。</p> <p>③話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えを伝える。</p> <p>上記①②について、90%以上の肯定的な回答を目指す。</p>		
	<p><いじめの未然防止、早期発見に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部会や教育相談部会を中心に、日頃より生徒の変化を把握し、定期的な情報交換により迅速・適切な対応を全職員の共通認識のもとに取り組む。 ・各種アンケートや定期面談、生活設計ノートなどの行動観察を学校全体で実施し、いじめの未然防止・早期発見に努める。 ・エンジェル週間の取り組みやKOKUFUトークなどを通して、日頃から温かい雰囲気づくりを心がける。 ・生徒が楽しいと思えるように、学年や全校でレクレーションを実施する。 <p>【客観的評価（アンケートより）】</p> <p>①自分には良いところがあると思う。</p> <p>②友達は自分の良いところを認めてくれる。</p> <p>③学校生活は楽しいと思う。</p> <p>④学校に安心して来ることができる。</p> <p>⑤自分には悩みや心配事があるとき、相談できる人がいる。</p> <p>上記①について、80%以上、②～⑤について、90%以上の肯定的な回答を目指す。</p>		
道徳教育	<p><考え、議論する道徳授業の実践、積み上げ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究や校内研修を通して、全職員で道徳授業の力量を上げ、「考え、議論する道徳」の推進を図る。 ・生徒が授業における自己の変容を実感できるような評価についての研究を進め、実践する。 <p>【客観的評価（アンケートより）】</p> <p>①学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。</p> <p>②道徳の授業や行事などを通して、人間関係づくりや正しい生き方などについて考えるようになった。</p> <p>上記①、②において、90%以上の肯定的な回答を目指す。</p>		
キャリア教育	<p><将来の生き方に希望を持ち、自ら学習に向かう生徒の育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな場面で、社会が「働く人々」によって成り立っていることに気づき、自分もその一員となろうという意識を育てる。 ・「職業人に聞く」「職場体験」「進路選択」を活用して自分の特性を知るとともに、伸長のための努力しようとする。 ・成長の証を「キャリアパスポート」に記録する。 <p>【客観的評価（アンケートより）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を通して、将来のことについて学校生活で考える機会が増えた。 <p>において、90%以上の肯定的な回答を目指す。</p>		
保健健康教育	<p><心身の健康に関心を持ち、自己及び他者を大切にしようとする生徒の育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会各委員会による保健指導、食育指導、体育指導の実施。 ・保健体育科教諭と養護教諭が中心となり、各授業や各行事を通して、教科横断的に生徒の心身のよりよい発育、発達を図る。 		
生徒会指導	<p><主体的に企画運営に取り組む生徒会指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動への関心を高めるために、魅力ある企画を行う。 ・生徒全員が目的意識と責任感を持って取り組み、やりがいや満足感を感じられる活動内容となるように掲示や「国府の集い」を行う。 <p>【客観的評価（アンケートより）】</p> <p>①「学級会、kokuhuトーク、国府の集いの定例化など、主体的・対話的な活動の充実を図っている。」</p> <p>②「生徒会活動や委員会活動に参加し、充実感を得ることができた。」</p> <p>上記について、90%以上の肯定的な回答を目指す。</p>		

学校関係者評価	
---------	--